

八戸火力発電所5号機の概要

1. プラント概要

所 在 地	青森県八戸市大字河原木字宇兵工河原1－1		
発 電 方 式	シンプルサイクル方式	コンバインドサイクル方式	
燃 料	軽 油	軽 油	天然ガス(LNG)
出 力	27.4万kW	39.4万kW	41.6万kW
熱 効 率 (低位発熱量基準)	34%	49%	約55%
運 転 開 始	平成24年7月	平成26年8月6日	平成27年7月 (予定)

2. 主な工事工程

(1) コンバインドサイクル化工事

平成24年 6月 1日 土木建築工事開始
平成25年 2月 1日 機械・電気工事開始
平成26年 3月 1日 試運転(発電)開始
平成26年 8月 6日 営業運転開始

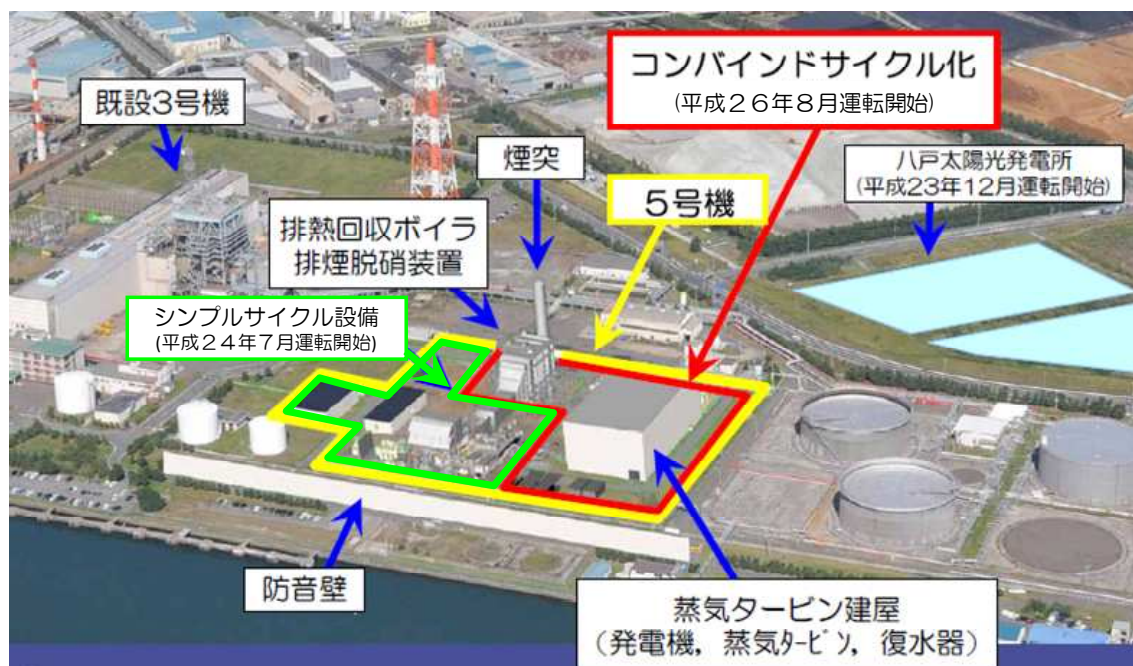
(2) 燃料転換工事

平成25年10月 1日 基礎工事開始
平成26年 5月 7日 機器据付・配管敷設開始
平成26年12月(予定) 設備接続開始
平成27年 4月(予定) 試運転(発電)開始
平成27年 7月(予定) ガス化による運転開始

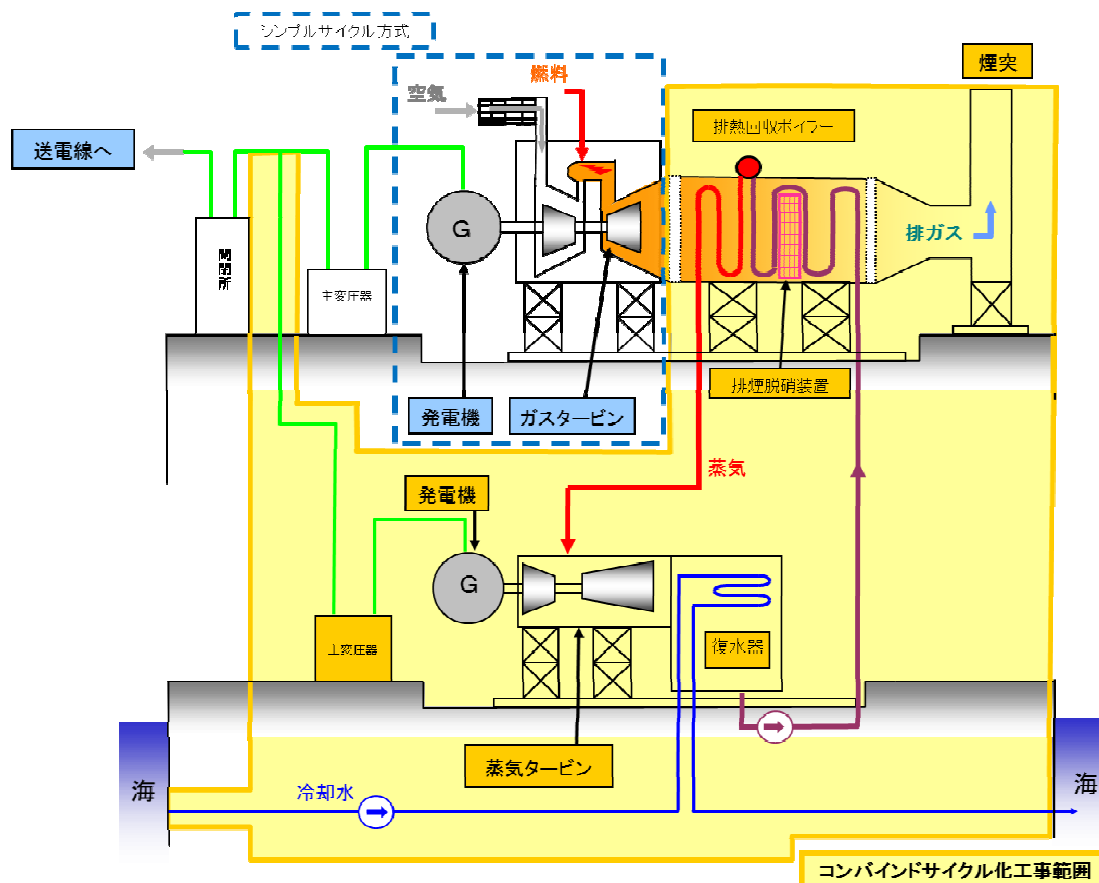
3. 外観写真



4. 完成図（平成26年8月6日）



5. 発電設備概略図



◎コンバインドサイクル方式の特徴

コンバインドサイクル方式は、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた発電システムで、燃焼ガスの熱膨張エネルギーによる力でガスタービンを回転させるとともに、ここで生じた高温の排出ガスから熱を回収して蒸気を発生させ、蒸気タービンを回して発電するものです。これにより、従来の蒸気タービンでの発電と比較して熱効率が高くなり、エネルギーの有効活用が可能となります。

以 上